

夜間頻尿とは

夜間頻尿とは、夜間に排尿のために1回以上起きる状態を指し、特に2回以上になると睡眠の質が低下し、日中の眠気や集中力低下など生活の質(QOL)に大きく影響します。加齢とともに増える傾向はありますが、「年のせい」として見過ごすべきではなく、背景にさまざまな原因が隠れていることがあります。



生活の質に大きく影響する「夜間頻尿」

☑ 主な原因

夜間頻尿の原因は大きく分けて3つに分類されます。

1 夜間多尿

65歳以上の場合、寝ているときの尿量が1日尿量の33%以上あると夜間多尿とされます。原因として水分過剰摂取によるものから加齢に伴うホルモン変化、高血圧や心不全、腎機能低下、薬剤性などがあります。

2 膀胱蓄尿障害

膀胱容量自体が低下する場合あるいは残尿の増加により機能的膀胱容量が低下する場合、その両者が関与する場合があります。疾患としては過活動膀胱、間質性膀胱炎・膀胱痛症候群、男性においては前立腺肥大症、前立腺癌、女性においては骨盤臓器脱などが原因となります。

3 睡眠障害

高齢者では、若年者と比較して深い睡眠の頻度が減り浅い睡眠となるため中途覚醒が多くなる傾向がありますが、夜間排尿後の再入眠困難や浅い睡眠からの中途覚醒は膀胱内圧の上昇を生じ膀胱容量低下をきたして尿意の原因になるとされています。

上記3つの原因が単一で、あるいは複数で夜間頻尿に関与していると考えられています。

☑ 対策

夜間多尿に対する日常生活での対策としては、夕方以降の過剰な水分摂取、特にカフェインやアルコールの摂取を控えること、ダイエットや減塩に心がけることも重要です。また、夕方以降の30分以上の運動は睡眠の質の向上や夜間尿量を減少させる効果があります。足のむくみがある方は弾性ストッキングの使用や夕方の下肢挙上を行うことで、夜間の尿量を減らせる場合があります。

睡眠障害に関しては、毎日同じ時間に起床する、昼寝は20分以内で15時までにする、寝る90分前にぬるめのお風呂に入るなど生活リズムを整えることで改善することがあります。また原因となるような疾患、例えば睡眠時無呼吸症候群などがあれば持続陽圧呼吸療法にて睡眠の質が向上、それに伴い夜間頻尿の改善がみられます。

こんな時は受診を

夜間だけでなく日中も頻尿で困る、尿の出が悪い、急に尿意を感じて困る、残尿感がある、尿がもれるなどの症状がある場合には膀胱蓄尿障害の可能性もあるため泌尿器科に受診することをお勧めします。

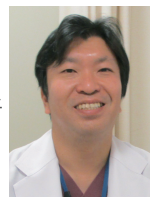
また、夜間頻尿のリスク因子として、高血圧、糖尿病、脳血管障害、利尿薬の使用、心疾患、肥満などがあり症状が持続する場合には、内科的な評価が必要になるときもあります。夜間頻尿は適切な評価と治療により改善が期待できる症状ですので、お困りの際は早めにご相談ください。

医療安全管理部長
泌尿器科 医長

小出 晴久

[専門領域]
泌尿器科一般
尿路結石

[資格]
日本泌尿器科学会専門医





■ 診療報酬改定に伴う医療費のお支払いについて

2026年度の診療報酬改定により、医療費の計算方法の一部が見直されました。診療内容や受診方法によっては、これまでと比べてお支払い金額が増減する場合があります。特に、先発医薬品を希望される場合や、時間外・休日の対応などでは、追加のご負担が生じることがあります。当院では、診療内容や費用について分かりやすくご説明するよう努めてまいります。ご不明な点がございましたら、どうぞお気軽にお声がけください。

■ 新任医師紹介 (2026年4月1日着任)



たき てつや
瀧 徹哉

【診療科】
外科
【専門領域】
消化管外科

【経歴】

2003年 東京慈恵会医科大学卒業
2003年 東京慈恵会医科大学附属病院研修医
2005年 東京慈恵会医科大学附属病院外科
2005年 富士市立中央病院外科
2006年 国立西埼玉中央病院外科
2007年 東京慈恵会医科大学附属第三病院外科
2010年 安田病院
2012年 神奈川県立汐見台病院 外科
2014年 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター外科
2016年 熊谷病院外科
2018年 春日部中央総合病院外科

【資格】

日本外科学会認定外科専門医
日本消化器外科学会認定消化器外科専門医
消化器がん外科治療認定医
日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医
医学博士

【診療方針】

学生時代に住んでいた大岡山で皆さまに貢献できるよう努めさせていただきますので、よろしくお願いたします。

【趣味・特技】

F1、スキー

■ 新任医師紹介 (2026年4月1日着任)



おかばやし ゆうすけ
岡林 佑典

【診療科】
内科
【専門領域】
腎臓病学・高血圧

【経歴】

2010年 愛媛大学医学部卒業
2010年 松山赤十字病院初期研修
2012年 東京慈恵会医科大学内科専攻後期研修
2015年 東京慈恵会医科大学大学院医学研究科博士課程
2019年 東京慈恵会医科大学附属柏病院腎臓・高血圧内科診療医員
2021年 ハンブルク・エッペンドルフ大学医療センター第3内科博士研究員
2024年 東京慈恵会医科大学附属病院腎臓・高血圧内科診療医員

【資格】

日本内科学会認定内科医、臨床研修指導医、
日本腎臓学会認定腎臓専門医

【診療方針】

腎臓病や高血圧の専門医として、患者さま一人ひとりに寄り添い、多職種で支える「チーム医療」を大切にしています。腎炎や慢性腎臓病の管理から、透析、シャントのケアに至るまで、看護師や管理栄養士、専門スタッフと一丸となって皆さまをサポートいたします。また、生活習慣病などの内科疾患も幅広く診させていただきます。「こんなことを聞いても大丈夫かな?」という小さな悩みも、遠慮なくお聞かせください。皆さまの健やかな毎日を守るパートナーとして、誠実に向き合っております。

【趣味・特技】

音楽鑑賞、レコード収集

■ LINEアプリで初診予約ができるようになりました!

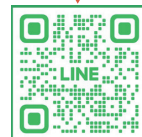
LINEアプリで初診予約が24時間受付可能となりました。当院を初めて受診される方もご利用可能です。

対象診療科：整形外科／泌尿器科／眼科

ご利用手順

- 1 病院公式LINEを友だち追加
(LINE ID:@796yhwgz)
- 2 トーク画面の「予約する」をタップ
- 3 必要事項を入力・送信
- 4 予約確認メッセージを受け取る

友だち登録は
こちらから





■ より満足度の高い眼科医療を目指して

最新検査装置「前眼部OCT CASIA2」を導入しました

「前眼部OCT CASIA2」は、角膜や隅角など眼の前方構造を高精度に解析できる装置です。これにより、白内障や緑内障に対する検査・診断の精度がさらに向上し、多焦点眼内レンズを検討される患者さまに対して、より満足度の高い術前評価が可能になりました。また、緑内障発作のリスク評価や、緑内障手術後の状態確認においてもより正確な診断が行えます。



目の構造を非接触で測定可能な「IOLマスター700」と最新多焦点眼内レンズ「パンオプティクスPRO」



上記の他にも、当院では白内障手術の精度を高める最新設備も備えています。白内障手術で用いる眼内レンズの度数を正確に決定するために、目の構造を非接触で測定可能な「IOLマスター700」という装置を使用し、さらに、アルコン社の最新多焦点眼内レンズ「パンオプティクスPRO」をいち早く導入しています。

従来の多焦点眼内レンズは、遠くと近くは見やすい反面、中間距離（パソコンやスマホの距離）がやや弱いという課題がありましたが、「パンオプティクスPRO」は1枚のレンズで遠く・中間・近くを自然につなぐ設計になっており「眼鏡に頼らない生活」を目指しやすいのが大きな特徴となっています。

「パンオプティクスPRO」と「IOLマスター700」、「前眼部OCT CASIA2」を組み合わせることで、患者さま一人ひとりに適した見え方を追求し、より満足度の高い白内障手術を目指しています。



東急病院の取り組み



～食を通じた健康増進を目指して～
東急ストアとコラボした弁当を販売しました。

地域の皆さまや患者さまの健康維持につながる取り組みを実施してきた東急病院が、食を通じた健康増進を目指して、東急ストアとコラボした弁当を2025年12月から2026年6月にかけて東急ストア・プレッセの各店舗で販売しました。今後も東急ストアとのコラボ弁当を企画・販売していく予定です。

テーマは「おいしく健康に」

食を通じた健康増進を目指し、東急病院の管理栄養士の監修による「おいしく健康に」をテーマに、カロリーや塩分バランスにもこだわり、いろいろな種類の野菜のおかずを盛り合わせた1/3日分の野菜量（※製造時）が摂取できるお弁当に仕上がりました。（全3種類・現在はすべて終売）

第1弾の「揚げないチキンカツ弁当」、第2弾の「鶏肉の糎味噌焼き弁当」、第3弾の「白身魚の西京焼き弁当」は、見た目の彩りも魅力で、販売を重ねるたびに多くのお客さまに手に取っていただき、多数のお褒めの言葉もいただくなど、大変好評でした。今後も地域の皆さまや患者さまの健康維持につながる取り組みを実施してまいります。

第1弾



揚げないチキンカツ弁当

第2弾



鶏肉の糎味噌焼き弁当

第3弾



白身魚の西京焼き弁当



窓口一覧

患者さまからのご予約・お問い合わせ

外来
ご予約

03-3718-3331 (代表)

※自動音声案内にて1番を入力してください。月～金13:00～17:00

～紹介状をお持ちの方は～

03-3717-7867

医療連携部門

月～金 8:45～17:30

訪問診療

03-3718-3331 (代表)

※自動音声案内にて3番を入力してください。月～金 9:00～17:00

人間ドック
ご予約

045-274-1009

月～金 12:30～16:00

健康診断
ご予約

045-902-8957

月～金 10:00～16:00

医療福祉
相談

03-3718-3336

月～金 9:00～17:00

医療・介護関係の方からのご予約・お問い合わせ

外来 救急 同日上部 または 同日下部内視鏡検査

栄養指導

03-3717-7867

医療連携部門事務担当

月～金 8:45～17:30

FAX:03-3717-4138

CT

MRI

骨密度検査

03-3718-3573

放射線科

月～金 8:30～17:00

FAX:03-6673-2594

超音波など

03-3718-3504

生理検査室

月～金 8:30～17:00

入院・転院のご相談

入院中の患者さまに関するお問い合わせ

03-3718-3336

医療連携部門MSW・看護師

月～金 9:00～17:00

FAX:03-3717-4138

